



# 笠野鳥越城



主郭に建てられている本丸址の標柱



登城口



笠野トンネル脇の案内板横から急な登城道を上る



所在地：石川県河北郡津幡町七黒

立地：丘陵頂部、標高100m

城主：目賀田又右衛門・丹羽源十郎（前田利家家臣）、久世但馬守（佐々成政家臣）

時期：戦国

見学時間（参考）：30分～1時間

鳥越城の直下に筋谷から笠野へ抜ける北陸街道の脇道（仮称・笠野道）が通る交通の要衝である。

平成14年（2002）NHK大河ドラマ「利家とまつ～加賀百万石物語～」放映を前に、地元ライオンズクラブを中心に主郭の標柱設置、登城道整備などが行われたが、現在笹藪に覆われた状態になっている。

天正12年（1584）9月、加賀・能登領主の前田利家と越中領主の佐々成政が対立し加賀・越中国境が軍事的に緊迫する中、佐々成政は口能登の要衝にある末森城を攻めるが失敗して俱利伽羅方面に撤退する。その時、鳥越城を守っていた前田方の目賀田又右衛門と丹羽源十郎は末森落城の誤報を聞いて城を捨てる。

佐々方は空になった鳥越城を難なく奪い、久世但馬守を在城させ、約半年間前田方の攻撃を何度も防いだ。

翌13年2月、利家は鳥越城奪取の仕返しとして重臣村井長頼に越中の蓮沼城周辺を焼き討ちさせるが、その頃鳥越城はまだ佐々方が抑えていたことがわかっている。

同年7月、関白になった豊臣秀吉の越中出陣を前に、佐々方は前田方が守る鳥越城付近まで



冠雪した立山の山頂部がのぞく（下の写真の部分拡大）

で迫ったがそのまま撤退し、8月末に秀吉が俱利伽羅峠に着陣したところで降伏する。加越国境の軍事的緊張は解消して程なく鳥越城は廃城になったと考えられる。



主郭から笠野盆地を望む

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ  
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）  
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9  
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943  
E-MAIL. contact@j-sampo.com  
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>